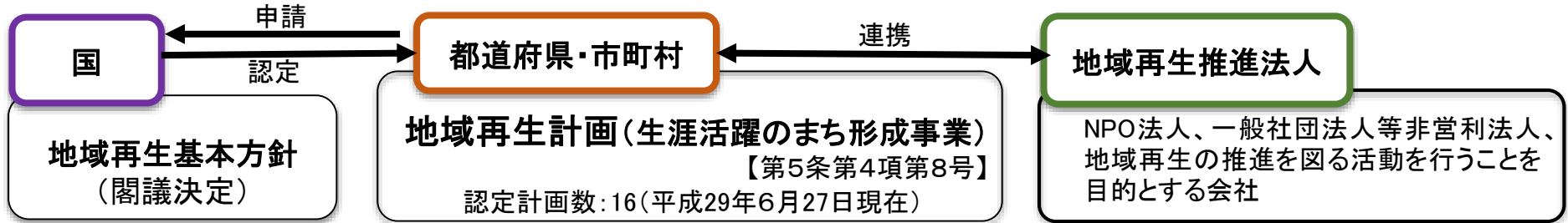


地域再生法の改正

資料3

地域再生法の改正(平成28年4月20日施行)による「生涯活躍のまち形成事業」の導入



具体化

市町村

生涯活躍のまち形成事業計画 【第17条の14】

記載事項

- 中高年齢者の就業、生涯にわたる学習活動への参加その他の社会的活動への参加の推進のための施策
労働者の募集を行う事業協同組合等に関する事項
- 高年齢者に適した住宅の整備のための施策
有料老人ホームの整備事業者に関する事項
- 介護サービスの提供体制の確保のための施策
介護サービス提供事業者に関する事項
- 移住希望者の来訪・滞在の促進のための施策
お試し居住を行う事業者に関する事項

大臣の同意

知事の同意

知事の同意

特例措置

・職業安定法の特例【第17条の18】

事業主が労働者の募集を被用者以外の者に委託する場合、厚生労働大臣の許可(無償の場合、届出)が必要

許可・届出不要

・老人福祉法の特例【第17条の22】

有料老人ホームを設置しようとする者は、都道府県知事に事前届出が必要

事前届出不要

・介護保険法の特例【第17条の23】

居宅サービス事業等の介護保険の事業を実施する場合、都道府県知事等の指定が必要

指定があったとみなす

・旅館業法の特例【第17条の24】

旅館業を実施する場合、都道府県知事の許可が必要

許可があったとみなす

◎サービス付き高齢者向け住宅の入居者要件の緩和【国交省・厚労省告示】

市町村が作成する事業計画において、国交・厚労大臣が定める基準に従い入居者要件を定めた場合、当該要件に該当する者も入居対象者とする。

- (参考) 現行規定による入居対象者
- 60歳以上の者や要介護認定・要支援認定を受けている者
 - 上記の者と同居する配偶者等

情報支援

- 構想の具体化プロセスに関する『生涯活躍のまちに関する「手引き」』を作成




人的支援

- 関係府省からなる「生涯活躍のまち形成支援チーム」による支援

財政支援

- 財政的支援(地方創生推進交付金等)を通じた先駆的な取組の支援など



第39回認定(平成28年8月30日) 地域再生計画(生涯活躍のまち形成事業関係)の概要

番号	作成主体名 (地方公共団体名)	地域再生計画の名称	地域再生計画の区域の範囲	地域再生計画の概要	主なK P I
新規計画 10件					
1	北海道函館市 	福祉コミュニティエリア整備事業(生涯活躍のまち形成事業)	函館市の区域の一部(日吉町4丁目の一部で市営住宅団地跡地)	本事業は、地域包括ケアシステムの考え方に基づき、住まいや医療・介護・予防・生活支援サービスが一体的に提供される仕組みづくりを行うとともに、年齢や障がいの有無に関係なく、子どもからお年寄り、子育て世代などが自然と交流できるまちづくりを行い、多世代交流施設を中核に地域コミュニティの創出を図る。また、住民が相互に支えあい、住民が主体となって活動できるような環境整備の仕組みづくりを行う。	○福祉コミュニティエリアにおける居住者数 :平成28年度 0人 → 平成37年度 500人 ○福祉コミュニティエリアにおける市外からの移住者数 :平成28年度 0人 → 平成37年度 50人
2	青森県弘前市 	アクティブシニアが活躍するひろさきセカンドライフ・プロジェクト	弘前市の全域	本プロジェクトは、弘前市のまちの魅力に共感するとともに、地域課題の解決に貢献する意欲のあるアクティブシニアの移住を受け入れ、地域住民をはじめとする多様な主体と交流・協働しながら就業、ボランティア等に携わり市内で活躍することを通じて、様々な地域課題の解決に寄与するような仕組みを構築しようとするものである。	○弘前版生涯活躍のまち移住者数(累計) :平成27年度 0人 → 平成32年度 70人 ○市の移住サポートセンターで受け付けた50歳以上の相談者数(各年度の相談者数) :相談者数100人(平成28年度から32年度までの累計)
3	茨城県稲敷郡阿見町 	あみプラチナタウン～人と自然が織りなす首都圏近接型の生涯活躍のまち～	茨城県稲敷郡阿見町の区域の一部(荒川本郷地区)	阿見町は、都心から約1時間でアクセス可能な自然豊かな田園都市である。 二地域居住することが可能な60代のアクティブシニアをメインターゲットに、東京圏からの移住を促進することによって、町の社会資源と自然環境が調和した、社会参加型の生涯活躍のまち「あみプラチナタウン」を形成する。 地域住民、医療機関、介護施設、大学などの相互連携によるサービスメニューの強化により、移住者が移住者間のみならず、地域社会に溶け込み、多世代との協働や地域貢献することが可能な環境と地元の雇用を創出する。	○東京圏からのアクティブシニアの移住相談件数(移住相談件数) :平成33年度までに650件 ○東京圏からのアクティブシニアのお試しツアー参加人数(ツアーの参加者数) :平成33年度までに325人 ○東京圏からのアクティブシニアの移住人数(移住人数) :平成33年度までに90人



第39回認定(平成28年8月30日) 地域再生計画(生涯活躍のまち形成事業関係)の概要

番号	作成主体名 (地方公共団体名)	地域再生計画の名称	地域再生計画の区域の範囲	地域再生計画の概要	主なKPI
新規計画 10件					
4	石川県白山市 	多世代参加による生涯健康・活躍を目指す「ごっちゃ」プロジェクト	白山市の区域の一部(出城地区)	白山市、社会福祉法人佛子園、学校法人金城学園金城大学の3者が相互に連携・協力し、社会福祉法人佛子園本部の拠点となっている白山市の区域の一部である出城地区を対象に、タウン型・大学連携型CCRCの実現を目指す。希薄になりつつある地域や世代間の関係を解消し、安心・安全で文化的な生活をし、生涯住み続けたいと思うまちづくりを進めるため、社会福祉法人佛子園の多機能施設を中核とし、高齢者・子ども・障害者・学生などが「ごちゃませ」で暮らせる地域・多世代交流等を支援する取組によるまちづくりに取り組む。	○北安田町(出城地区の一部)の世帯数 :平成28年度 630世帯 → 平成32年度 660世帯
5	山梨県都留市 	生涯活躍のまち・つる推進事業	都留市の区域の一部(下谷地区及び田原地区)	本市の特長である市内に立地する3大学等と、民間事業者等と連携し、元気な高齢者を地域に呼び込む「生涯活躍のまち・つる」を展開することにより、新規雇用の創出と、高齢者をターゲットとした地場産業・新規創業の仕組みとネットワーク化を図る。また、本市への移住者に対しては、大学相互・大学と市の連携を行い、質の高いプログラムや、社会的活動への参加のきっかけづくりを提供する。このことにより、地域全体の総合力を向上させ、ひいては『市民全体の豊かな暮らし』を実現させることを目標とする。	○生涯活躍のまち・つるに伴う移住者数 :H29年3月末 0人→H33年3月末 150人 ○お試し居住の体験者数 :H29年3月末 20人→H33年3月末 100人
6	長野県佐久市 	臼田地区生涯活躍のまち計画	佐久市の区域の一部(臼田地区)	佐久総合病院を中心に住民とともに育んできた地域医療の歴史、地域と一体となった保健予防活動などによる全国トップレベルの「健康長寿」の実現、地域包括ケアが充実している強みと、就業やボランティア活動、生涯学習活動など社会活動参加へのワンストップでの体制を構築することで首都圏等の中高年齢者の移住を促し、移住者が地域社会との共働により、相互が主体として「愛され、褒められ、期待され、期待に応える」幸福のサイクルを体現し、必要に応じて医療・介護を受けながらずっと住み続けることができるまちを実現する。	○移住促進センターにおける相談者のうち佐久市への移住者数:(※住まい整備が整うまでは移住相談件数) :平成28年度末 200件(相談件数) 平成29年度末 200件(相談件数) 平成30年度末 40世帯(世帯数)



第39回認定(平成28年8月30日) 地域再生計画(生涯活躍のまち形成事業関係)の概要

番号	作成主体名 (地方公共団体名)	地域再生計画の名称	地域再生計画の 区域の範囲	地域再生計画の概要	主なKPI
新規計画 10件					
7	兵庫県三木市 	多世代共生による 都市近郊型のまち の再生～みんなが 輝く 生きがいある まち 三木～	三木市の区域の一 部(三木市緑が丘 町)	三木市は、高度成長期に開発された住宅団地が、開発後45年以上となり高齢化・空洞化が進み、消滅の危機を迎えている。全国的に例のない戸建住宅団地の再生によりまち全体を活性化するため、土地利用見直し、団地内住み替えの促進、少子高齢社会に対応した各種生活支援サービスの創出などを進め、団地の魅力を大幅に高めるとともに、生涯活躍のまちづくりにより大都市圏からの移住を促進し、人口バランスを整え多世代が交流・共生し、いきいきと暮らせる持続可能なまちづくりを推進する。	○戸建住宅への移住世帯数(累計) :H28年度 2世帯→H32年度 100世帯 ○整備集合住宅への移住世帯数(累計) :H28年度 0世帯→H32年度 100世帯
8	鳥取県西伯郡南部町 	南部町版生涯活躍 のまち推進プロジェ クト	鳥取県西伯郡南部 町の全域	当町の地域特性を生かし、都市圏に住むアクティブシニアが自らの希望に応じて移住し、地域の仕事や社会活動、生涯学習などの活動に積極的に参加し、多世代と交流しながら継続的なケア体制を確保することで、地域が求める人材を都市部から誘致し、地域住民と一緒に地域活性化に向けた取組を行うことを目指すもの。	○南部町への転入数 :平成27年度(年間310人)比較で平成33年3月末までに 累計200人増


第39回認定(平成28年8月30日) 地域再生計画(生涯活躍のまち形成事業関係)の概要

番号	作成主体名 (地方公共団体名)	地域再生計画の名称	地域再生計画の 区域の範囲	地域再生計画の概要	主なK P I
新規計画 10件					
9	岡山県勝田郡奈義町 	自然とアートの「生涯『総』活躍のまち」づくり計画	岡山県勝田郡奈義町の全域	<p>奈義町では、進学や就職を機に若い世代が町外へ流出し、人口減や高齢化が進んでいる。</p> <p>中山間地域の小規模自治体であっても、町の強みである「自然」と「アート」を活用し、奈義町でしか体験できない社会的活動や理想的な住まい、継続的なケアを提供し、地域の自然・文化・歴史等を踏まえた「タウンプライド」の下で、年齢や性別、障害や課題の有無等に関わらず、全ての町民や訪れた人が、自分らしい「豊かな暮らし」「豊かな時間」を過ごすことができる、「生涯『総』活躍」のまちづくりに取り組み、偏りのない構成での人口維持を目指す。</p>	<p>○社会増 :平成28年度 50人 → 平成32年度 150人</p>
10	大分県別府市 	日本中の癒しをすべて集めたまち-温泉と医(いや)しと学びへの誘い-	別府市の全域	<p>「生涯活躍のまち」の実現に向けて、「生涯活躍のまち基本指針」の策定、運営推進法人の選定に取り組む。</p> <p>「生涯活躍のまち形成事業計画」を策定し、中高年齢者の社会的活動への参加の推進、高年齢者に適した住宅の整備、継続的なケアの提供体制の確保、移住支援、地域社会(多世代)交流・協働、生活全般のコーディネートなどに取り組む。</p>	<p>○50歳以上の社会増(平成28年度から平成32年度までの累計) :50人以上</p>




第40回認定 地域再生計画(生涯活躍のまち形成事業関係)の概要

番号	作成主体名 (地方公共団体名)	地域再生計画の名称	地域再生計画の 区域の範囲	地域再生計画の概要	主なK P I
新規計画 2件					
11	徳島県三好市  平成28年11月29日認定	三好市生涯活躍の まちづくり計画	三好市の区域の一 部(池田地域)	移住促進(移住者の受け入れ)を通じ、 ①40歳以上(50代のシニア層を中心)の「移住希望者」 にのっての自分らしいライフスタイル実現を支援すると ともに、 ②移住希望者を「受け入れる地域」が抱える課題(医 療・福祉の担い手の確保、事業の承継等)を移住者とし て解決し、 ③「三好市全体」の地域力向上や、持続可能なまちづく り(地域資源の再生、関係人口づくり、地域包括ケアの 構築促進等)を実現する、 「三方(移住希望者、受け入れ地域、三好市全体)よし」 の取り組みを実践していく。	○UIJターン件数 平成27年度 135件 → 平成32年度 170件 ○生涯活躍のまち構想の推進による移住(希望)者数 (累計) 平成27年度 0人 → 平成32年度 100人 ○移住相談件数 平成27年度 86件 → 平成32年度 200件
12	福岡県北九州市  平成28年12月13日認定	住むなら北九州 市！北九州市版生 涯活躍のまち	北九州市の全域	「北九州市版生涯活躍のまち」では、アクティブシニ アの移住・定住を促進するための事業に市全体で取り 組んでいくとともに、市内の複数地区において「北九州 市版生涯活躍のまち」を体現するようなモデルエリアを 形成していく。モデルエリアにおいて、「北九州市版生 涯活躍のまち」の形成に取り組むため、中高年齢者の 社会活動への参加推進、高年齢者の居住環境の整備 、地域における継続的なケアの提供、その他移住支援 を行う。	○北九州市への50歳以上の転入増加者数 448人(平成28年度から32年度までの累計) ○50歳以上の「北九州市すまいるクラブ」(北九州市へ の移住希望者の会員制度)登録増加件数 220件(平成28年度から32年度までの累計) ○お試し居住延べ宿泊増加数 700泊(平成28年度から32年度までの累計)

第42回認定(平成29年3月28日) 地域再生計画(生涯活躍のまち形成事業関係)の概要

番号	作成主体名 (地方公共団体名)	地域再生計画の名称	地域再生計画の 区域の範囲	地域再生計画の概要	主なK P I
新規計画 1件					
13	広島県山県郡安芸太田町 	安芸太田町版「生 涯活躍のまち」推進 プロジェクト	広島県山県郡安芸 太田町の全域	地域社会の高齢化、人口の減少に歯止めがかからない 現状において、住み慣れた場所で、暮らし続ける地 域を形成するために、新たなコミュニティの仕組みを構 築するとともに、暮らしをサポートする拠点を整備する。 あわせて、都市部からアクティブシニアやソーシャル志 向の高い若者や、介護福祉人材等の移住を促進し、コ ミュニティの担い手として活躍することができる環境を 整備する。	○町外からの転入者の増加数(平成27年比較) 平成32年度末 44人 ○介護福祉関係資格人材育成事業によるIUターン者数 (家族含む) 25人(平成28年度から32年度までの累計)

第44回認定(平成29年6月27日) 地域再生計画(生涯活躍のまち形成事業関係)の概要

番号	作成主体名 (地方公共団体名)	地域再生計画の名称	地域再生計画の 区域の範囲	地域再生計画の概要	主なK P I
新規計画 3件					
14	千葉県匝瑳市 	匝瑳市版生涯活躍のまち形成事業に係る地域再生計画	匝瑳市の区域の一部(飯倉地域及び飯倉台地域)	本事業は、本市飯倉及び飯倉に隣接する飯倉台を対象に、エリア型の生涯活躍のまちの実現を目指ものであり、具体的には、JR東日本総武本線飯倉駅に隣接する旧ショッピングセンター跡地に、住まいや医療、介護、生活支援等のサービスが一体的に提供される環境を整備し、また、地域交流拠点施設を中核として、年齢や障害の有無にかかわらず、子どもから高齢者まで、多世代にわたり交流し、協働することのできる仕組みを構築し、誰もが生涯にわたって活躍し、生涯住み続けたいと思うまちづくりを進める。	○事業地内のサービス付き高齢者向け住宅に移住した移住者数 :30人(平成29年度から33年度までの累計) ○市及び事業主体に移住相談を行った事業地内のサービス付き高齢者向け住宅への移住相談者数 :80人(平成29年度から33年度までの累計)
15	新潟県南魚沼市 	「住まう歓びを感じるまち 南魚沼」実現プロジェクト	南魚沼市の全域	CCRC 構想の推進による首都圏からのアクティブシニア層の移住と、若者の移住・定住を推進する。また、快適な住環境の確保、さらに産官連携により海外からのIT 企業を誘致するグローバル IT パークをはじめ、学術機関、医療機関、その他の産業等との連携により、医療・介護サービスも含めたソフト事業を提供し、移住者・在住者を問わず住みやすく快適に暮らせる魅力あるまちづくりを実現する。	○CCRC施設への入居者を含む移住者 :400人(平成28年度から32年度までの累計) ○毎年度市内でのお試し居住数 :240人(平成28年度から32年度までの累計)
16	静岡県賀茂郡南伊豆町 	南伊豆町生涯活躍のまち「南伊豆の大学づくりプロジェクト」	静岡県賀茂郡南伊豆町の全域	町全体をキャンパスと見立て、多種多様な人たちが、お互いに教え合い学び合う場を創出することで、多様な主体が学び、交流し、協働する場が生まれ、就労機会の提供にも繋がる。これにより、地域の活性化が図られ、さらにそこに魅力を感じて新たに移り住む人が増え、人口減少の緩和にも寄与することを目指した生涯活躍のまちづくり事業である。	○拠点エリア内への移住者数 :50人(平成29年度から33年度までの累計) ○サ高住等整備計画づくりへの参加者数及び入居(移住)相談者数 :150人(平成29年度から33年度までの累計)